

衣浦東部広域連合の概要

衣浦東部広域連合は、平成15年4月に愛知県碧南市、刈谷市、安城市、知立市、高浜市の5市により、総合的な消防力の充実を図り、高度な消防サービスを提供することによって、圏域住民の生命・財産を火災から守るとともに、災害による被害の軽減を目指し設立されました。圏域人口(5市全体の人口)は53万人を超え、愛知県下では名古屋市に次ぐ規模の消防局です。

消防局の職員数は443人(令和5年4月1日現在)、圏域内を連合事務所(本部)と12署所(5消防署、6分署、1出張所)の体制で地域の安全・安心を守っています。



① 連合事務所(本部)



② 碧南消防署



③ 碧南消防署北分署



④ 碧南消防署東分署



⑤ 刈谷消防署



⑥ 刈谷消防署北分署



⑦ 刈谷消防署南分署



⑧ 安城消防署



⑨ 安城消防署北分署



⑩ 安城消防署南分署



⑪ 安城消防署西出張所



⑫ 知立消防署



⑬ 高浜消防署



消防章

衣浦東部広域連合発足の前年(平成14年)、消防章のデザインを一般募集しました。全国から565点の応募があり、岡本和也さん(愛知県高浜市)の作品が選ばれました。
これまでの20年間、この消防章を衣浦東部広域連合消防局、消防署の署章・旗のほか幅広く活用しました。
【デザインの説明】中心にある図形は「走っている人」で、24時間働く消防士をイメージ化したものです。また、「衣浦東部」の「衣」という文字を図案化したものでもあります。

衣浦東部広域連合組織図

